

徳川家光の相談役に

徳川家光から秀元に贈られた梟図。
勇武であり、能、蹴鞠、歌道、茶道などさまざまな芸能を身に付けていたことから、家光の御咄衆（相談役など）になりました。



徳川家光筆 梟図

毛利秀元

HIDEMOTO MOURI



毛利秀元画像

初代長府藩主を務めた毛利秀元。文武に秀で、豊臣秀吉や徳川家光ら、時の天下人からも重用されました。

豊臣秀吉・徳川家光・毛利元就など、歴史上の重要人物の資料が勢ぞろい！
下関に託された至宝
長府毛利家は、戦国大名毛利元就の孫の毛利秀元から始まる家です。
江戸時代には、現在の下関市の大部分を治める長府藩の藩主を務めました。
長府毛利家に伝わった至宝を大公開します。



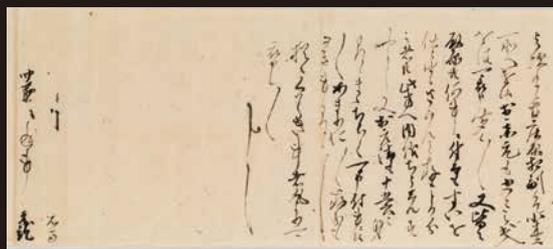
梨子地菊桐紋散蒔絵鞍

天皇家御紋の使用が許される

礼儀正しい宮松丸(秀元の幼名)は、豊臣秀吉に気に入られていました。
元服の時は、秀吉から名前の一文字をもらい「秀元」と改名。
この時後陽成天皇から馬具を拝領し、天皇家御紋の菊紋と桐紋の使用が許されました。

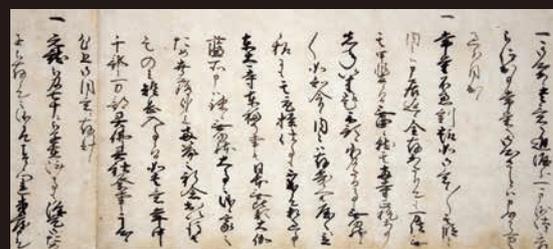
教育熱心

元就が四男、元清に送った書状。元清の家臣への対応が、15、16歳にしてはあまりにも考えが足りず、愚かであると厳しく指摘をしています。元就は、家臣を大切にし、子どもたちへ熱心に教育をしていました。



毛利元就書状

我が子を失った元就の慟哭と隆景の決意



小早川隆景書状

元就の三男、小早川隆景が、寺の住職に送った書状。
長男、毛利隆元に先立たれた元就が悲嘆する様子が記されています。
隆景は、身を砕いて子としての務めを果たし、隆元へのはなむけにするとの決意を述べています。

毛利元就
MOTONARI MOURI
戦国大名毛利元就。
小領主だった毛利氏を、一代で西国最大級の戦国大名へと導いた。
優れた洞察力を持つ策略家。



毛利元就画像

長府毛利家遺品公有化・
毛利秀元長府入部420年記念企画展
長府毛利家遺品
— 下関に託された至宝 —

企画展に合わせて、これらの名品を紹介した記念特別図録を刊行します。ぜひご覧ください！



学芸員 松田和也

期 **11月18日(金) ▶▶ 令和5年1月29日(日)**

前期 11月18日～12月25日

後期 12月27日～1月29日

休月曜日、年末年始(12月28日～1月4日)

※1月9日は開館し、1月10日が休館

料 一般210円、大学生等100円

記念特別講演会

①「謎解き毛利元清」

毛利家の存立に大きな役割を担った彼の実像を最新研究からひも解きます。

日 令和5年1月8日(日)13時30分～15時

所 生涯学習プラザ風のホール

師 石畑匡基氏(大手前大学講師 博士)

定 100人(要予約・先着順)

関連講座

②「徹底解剖 長府藩の仕組み」

侍が何人いて、領民をどう支配していたのか…長府藩の生活の実態に迫ります。

日 12月18・21日

10時30分、13時30分(各1時間)

③「花開く殿様アート 長府毛利家の文芸」

アートの視点から長府毛利家を紐解きます。

日 令和5年1月18・21日

10時30分、13時30分(各1時間)

所 ②③歴史博物館ガイダンス交流室

師 ②③松田和也(歴史博物館学芸員)

定 ②③各回25人(要予約・先着順)

料 ②③300円

申 ①②③12月1日(木)9時30分から直接か電話で、歴史博物館へ。※各回とも内容は同じ

問 歴史博物館 ☎241-1080

豊臣秀吉から拝領した「大名物」



唐物茶壺 銘 玉蟲

慶長の役から帰国した秀元に、豊臣秀吉が贈った茶壺。この茶壺は、もともと室町幕府足利將軍家の収集品の1つでした。茶器のなかでも特に優れた「大名物」とされる名品です。

長府毛利家の至宝の1つとして、大切に受け継がれてきました。

気象観測も趣味



毛利元敏画像

元敏は、明治24年に東京から長府に帰住。現在も観光地として親しまれている長府毛利邸を建設しました。旧藩士や領民との交流を大切にしながら、趣味をたしなみ、郷土の教育発展などにも尽力しました。

毛利元敏
MOTOTOSHI MOURI
長府藩最後の藩主。
廃藩置県で東京に移住した後はイギリス留学を経験。
和洋問わずさまざまな趣味をたしなみました。